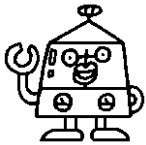


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
魚の卵の成長 / 理解シート

## 貝は、どうやって赤ちゃんを産むの



貝はふつう、出水管などからたまごを産むけど、体内でたまごがかえって子貝が生まれてくるものもあるよ。

**巻き貝は、子貝を産んだり、ふくろなどにつつんだたまごを産む**

タニシやカワニナなどの巻き貝は、オスの触覚しょつかくからメスの体内せいしに精子せいしが送られ、受精じゆせいしたたまごは、メスの体内でかえります。そして、夏から秋にかけて、親と同じ形をした子貝こい（赤ちゃん）になって外へ産み出されてきます。

たいていの巻き貝のなかまは、同じ形をしたふくろに数10個じのたまごをつつみこみらん（卵のうという）、岩や岸ぺきなどに1つずつきちんとならべて産みつけます。「海ほうずき」とよばれて売られているのは、この卵のうです。

**二まい貝は、水中にたまごをふき出す**

アサリなどの二まい貝は、すなの中にもぐって2本の管を水中につき出しています。えさをすいこむ入水管と、ふんなどを出す出水管です。これらの貝は、産卵の時期になると、出水管からメスはたまご、オスは精子せいしをふくんだ液えきを、水中にふき出します。水中でたまごと精子せいしがいっしょになって、受精卵じゆせいらんになります。

二まい貝でも、巻き貝でも、たまごはすぐふ化して、幼生ようせいになり、泳ぎ回りながら成長して、親と同じ形になったら水底で生活するようになります。

巻き貝でもアワビは、たまごや精子をいっせいに海中にふき出します。

